



委員会から報告します

各常任委員会では付託された議案について、市当局と議員の間で次の質疑が交わされました。

(なお、本文は各常任委員会委員長が執筆したものを編集し、掲載しております)

総務委員会

委員長
みたべつねあき
三田部恒明

審査案件
報告第2号
議案第1・2・
10・12・13・
16・25・26号
請願第5・6号

問 深谷大里看護専門学校存続に関し、市のかかりは？

答 看護専門学校の認可権限は埼玉県知事にあります。仮に経営破綻した場合、貸し付けた財産を原状に復して戻してもらうことになります。

問 ペナルティーの有無は？

答 財産の原状回復としか取り決めをしていません。地域にとって必要であるとの認識であり、撤退等の事態の発生は考えていません。

問 18年度決算認定後の確定繰越金が12月議会の補正で速やかに反映されるべきであり、3月議会で行う理由は何か？監督権限は？

答 19年度補正予算の財源として留保していたからです。歳入は歳出と違い、予算を上回って収入でき、19年度最後の補正で、すべての繰越金を計上し、財政調整基金に積み立てたものです。市町村については県が監督し、指導の立場にあり、個別の事業については会計監査があり、直接国から指導があることもありません。

問 補助金・交付税減額の中2・7%の予算規模拡大であり、深谷市の予算は強い。合併の効果か？

答 合併特例として地方交付税を普通より多くいただいています。歳出については職員数の適正化で人件費が低く抑えられています。

問 特別会計への繰出金は減っているが今後の見通しは？

答 国保会計など扶助費系繰出金については少子高齢化で増加していくと思われれます。下水道など投資的業務については財政力に見合った長期的計画で過大な繰出金にならないようにしていきたいです。



福祉文教委員会

委員長
かとうとしえ
加藤 利江

審査案件
議案第5・6・
7・11・16・25号

問 後期高齢者医療制度に移行しないと障害者医療費の支給がストップしてしまう人は何人いるのか。また、この方々が加入している現在の保険はどのようなものか。

答 精神障害者手帳1級・2級の方で44名、音声言語の身体障害者4級の方が4名、下肢障害で4級の方が14名、計62名が対象となっています。この方たちが加入している保険は把握していませんが、全体の重度医療支給状況では、平成20年1月現在で、国民健康保険の方が975名、社会保険の方が651名、老人保健の方が1719名、計3345名という内訳になっています。

問 給食センター費で、岡部学校給食センターを廃止して、花園学校給食センターを改修する予算計上がされているが、それに至った経緯について聞きたい。

答 岡部学校給食センターは、昭和57年建設で、老朽化が激しく、

現在、毎日3mほど漏水しています。床についてもウェット式で、衛生面でも問題があります。花園学校給食センターは、平成7年建設で、2500食が調理可能ですが、統合した場合、2900食となるため、施設を改修し、備品購入等行えば実施することが可能なため、予算計上しました。

問 統合した場合のメリット、デメリットを聞きたい。

答 メリットとしては、業務の効率化が図れ、経費の節減が図れます。また、衛生面においてより一層の安心感が得られます。デメリットとしては、給食センターからの距離が遠くなる学校が出てきます。しかし、これについては、配送車を1台増車し、機動性を持たせて配送していきま



市民環境産業委員会

委員長
うたむらはるえ
宇多村春恵

審査案件
議案第3・4・
16・17・25・
26・27・28号
請願第7・8号

問 騒音・振動・悪臭の苦情対策を聞きたい。

答 問題が発生したとき、係員が測定器で調査し、基準を守るよう改善計画を依頼し、実行をお願いしております。

問 道の駅管理事業について予算の内訳を聞きたい。

答 川本物産館は約853万円、道の駅おかは322万1千円、道の駅はなぞのは500万円、はなぞの市民農園は481万9千円です。

問 山の家運営事業はこの先何年やっていくのか。

答 平成21年3月を目途に廃止する方向で進めております。市民の保養施設の代替案などの検討をしております。

問 荒川中部土地改良区事業等補助金の内容を聞きたい。

答 防災広域利水対策で2950万円、幹線排水路維持管理費で882万円、環境保全対策で664万円、償還金が640万円、しゅ

んせつ工事費用で約400万円です。

請願第7号

問 日本経済を下支えする中小企業は大変厳しい状況にあり、健全な経営環境を取り戻すべく政府に対して更なる中小企業底上げ対策を講じていただきたい。本請願は採択すべきものと考えます。

請願第8号

問 化石燃料の代替エネルギーがイコール、バイオマスとは考えにくい。クリーン燃料の開発が進む中、これ一本に絞っていくのは時期尚早と思う。世相の状況を見ながら検討したい。本請願は継続審査とすべきと考えます。



建設委員会

委員長
しばさきしげお
柴崎 重雄

審査案件
報告第1号
議案第8・9・
14・15・16・18・19・
20・21・22・23・24・
25・29・30・31・32・
33・34・35・36号

問 市道路線の廃止について、市民から依頼された路線もあるのか。

答 あります。廃止する路線は、市道認定している路線が道路として機能していないこと、なくても日常生活に支障がないこと、現地確認で道路としての形態がないものなどです。

問 通学路安全対策事業と道路照明灯設置管理事業の区分けの基準について聞きたい。

答 通学路安全対策事業は、通学路に対して照明灯を設置するもので市内29校の学区ごとに各1基設置し、残りの11基はPTAからの要望を現地調査し、設置を予定しています。道路照明灯設置管理事業は、自治会からの要望により設置するもので34基を予定しています。各自治会からの要望は、それぞれ自治会長と協議の上、設置してまいります。

問 水道料金の統一時期と額について聞きたい。

答 平成20年度に水道事業運営審

議会へ諮問し、その答申を受けた後、当年度中に議会に諮ります。水道料金は、今後必要な事業費を算定し、それを基に料金を検討いたします。

問 原油等の高騰により建設費も上昇すると思うが、老朽管更新事業は、予定どおり実施できるのか。また、事業見積もりは前年度を参考にしているのか。

答 平成19年度当初予算では12.6kmを計上しましたが、平成20年度は13.3kmを予定しています。実施する際には、資材単価の見積もりを聴取し、事業を実施していきます。



「議会あれこれ」付託してなあに?」...議会の議決に先立って、詳しく検討を加えるために議案や請願の内容により、その案件を担当する委員会に審査を委託する仕組み。